

恵庭岳の火山活動解説資料（令和4年1月）

札幌管区気象台
地域火山監視・警報センター

火山活動は静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。
噴火予報（活火山であることに留意）の予報事項に変更はありません。

○活動概況

・噴気など表面現象の状況（図1～3）

18日に上空からの観測（国土交通省北海道開発局の協力による）を実施しました。山頂東側の爆裂火口内には従来から知られている2か所の弱い白色噴気を確認しました。赤外熱映像装置による観測では、2020年12月と比べて、地表面温度分布に特段の変化はありませんでした。



図1 恵庭岳 周辺図及び撮影方向（矢印）

この火山活動解説資料は気象庁のホームページでも閲覧することができます。

https://www.data.jma.go.jp/vois/data/tokyo/STOCK/monthly_v-act_doc/monthly_vact.php

本資料で用いる用語の解説については、「気象庁が噴火警報等で用いる用語集」を御覧ください。

<https://www.data.jma.go.jp/vois/data/tokyo/STOCK/kaisetsu/kazanyougo/mokuji.html>

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院発行の『電子地形図（タイル）』を使用しています。



図2 恵庭岳 山頂東側の爆裂火口内の状況
東側上空（図1の①）から撮影

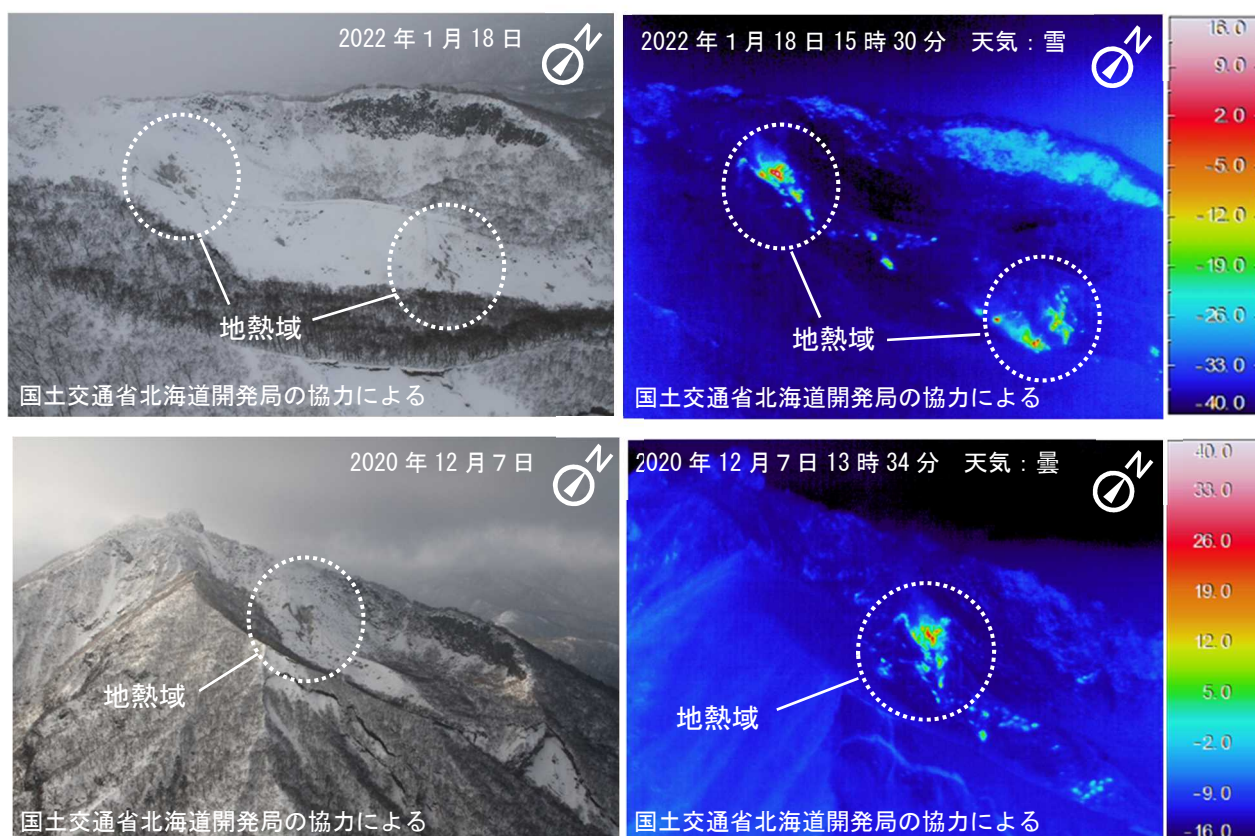


図3 恵庭岳 赤外熱映像装置による山頂東側の爆裂火口内の地表面温度分布

上：南東側上空（図1の②）から撮影

下：南東側上空（図1の③）から撮影

- ・2020年12月の観測と比べて、地表面温度分布に特段の変化はありませんでした（2020年の観測では下部の地熱域は稜線のため撮影できていません）。